

3年生タイム活動案

平成27年7月10日(金)

対象児童 3年生8名

(1)テーマ

身近な英語を覚えよう!

(2)活動のねらい

英語に親しむ。

教室にあるものを英語で言えるようになる。

(3)準備物

カルタ、色鉛筆

(4)展開

時間 (45分)	児童の活動	指導者の支援
導入 5分	○学生の話聞く ①国旗(アメリカ、カナダ、オーストラリア)を見せ、この国ではどんな言葉を話しているのか質問する。 ②知っている英語を発表してもらう。	
展開① 15分	○班の形に机を移動する (4人グループに分かれる) ○カルタ、色鉛筆を班に1セットずつ配る ○どんな単語があるか一つずつ確認する	●カルタ(15枚)が班のメンバーに均等に行き渡るようにする。
展開② 15分	○裏、表の白抜きの文字や絵に色を塗る (目で見ながら覚える)	●なかなかカルタを見つけられない場合はヒントを出す。
まとめ 10分	○ルール、注意事項を説明する。 ○カルタを始める 1回目→カルタは日本語の面を上にする 学生は英語を言う 《班の入れ替え》 2回目→カルタは英語の面を上にする 学生は日本語を言う 《班の入れ替え》 3回目→カルタは英語の面を上にする 学生は英語を言う	●どの班もカルタをとれたことを確認してから次に進む。

	<input type="radio"/> カルタを回収する <input type="radio"/> 何問か、カルタの中の単語から問題を出す	
--	---	--

〔活動を終えての感想（成果及び課題）〕

まず、始まりの時間になっても児童が揃っておらず、活動の開始時刻が10分ほど遅れました。また、導入の部分に時間をかけすぎたこともあり、本来なら3回行う予定だったカルタは1回しか出来ませんでした。

初めにクイズを出したり、知っている単語を発表してもらったりと児童に発言してもらうことが多かったのですが、みんな良く手を挙げて積極的に発表してくれていました。しかし時間が経つと、学生が指名する前に発言したり、席から立ち上がっている児童が多くなり、教室全体が騒がしくなっていました。この時に、「姿勢がいい人を当てようかな」「きれいに手が挙がっている人を当てようかな」などの声かけや、一度、学生が黙って全体が静かになるのを待ってから次に進むなどの工夫が必要でした。

初めに英語をやると言ったときは「絶対無理」「いやや」などの声上がり、どうなることか心配していましたが、ゲームが始まるとみんな楽しんで取り組んでくれている様子でした。ゲームを始める前に、色塗りや絵を描いてもらったのですが、時間の都合上5分程しか時間を取れなかったため、すべてのカードに色を塗ったり、絵を描いたりすることができなかった児童もいました。絵が描けていないカードは取るまでに時間がかかっていたので、色塗りや絵を描かせたことは効果的だったかなと感じました。

初めての授業ということもあり、反省点や工夫すべき点など課題が多く見つかりました。これからの活動に生かしていきたいと思います。